



宮崎 翔

東京工芸大学芸術学部 卒
株式会社 白水社
所属：デザイン部

「世界的なデザイン見本市を訪れて」

高校時代にミラノサローネ（毎年イタリアミラノで開催されている世界的なデザイン見本市）を訪れたことがきっかけでデザインを仕事にすることを強く意識しました。

大学では空間デザインを専攻し、在学中にもミラノサローネを1度訪れたりもしています。白水社に入社を決めたのは、当社がディスプレイ業界で長い歴史と着実な実績を積み上げていること。プロのデザイナー『宮崎翔』の基盤となる思考や姿勢を創り上げる環境として、重要なことと思います。今年で入社3年目を迎えていますが、まだまだ分からないことばかり。何事にもどん欲に取り組んでいきたいです。

「不安に思ったときはいつも」

空間デザインの仕事はマニュアルがあるものではありませんから、プロジェクトの価値やクライアントへのアピールの仕方、もちろんデザインも毎回創造していくことが求められます。そこが刺激的で面白いと感じられる部分であり、プレッシャーとの戦いでもあることから不安を抱える部分でもあります。色々な類いのネガティブ要素を解決に導いて成果にできることは、デザインの仕事の奥深さと思うので不安に思うこと自体は必ずしも悪いこととは考えていませんし、不安に思ったときは『だったらどうすればいい?』と考えることをいつも意識しています。

「様々な分野に精通。ハイブリッドなデザイナー」

今は主に展示会プロジェクトが多いのですが、少しずつ商業テナントのプロジェクトにも挑戦させてもらっています。先日、フードコートの設計デザイン案件を無事竣工することができて、飲食店としては小さな規模でしたが学ぶことも多く、次は是非フルサービスの飲食店のデザインをやりたいです。また個人的に日本の歴史や文化史に興味があるので、ミュージアムや歴史館などの文化施設のプロジェクトに挑戦したいです。展示分野と内装分野のスキルが求められる仕事ですし、各分野に精通したハイブリッドなデザイナーになっていきたいと考えています。



next HERO

明日の君へ…

新入社員が入社動機から仕事に対する想い、期待、不安、将来のビジョンを語る



「お客様とのやり取りを通じ、デザインを形に」

デザイン関係の仕事に就きたいと考えていたため、専門学校ではグラフィックデザインを学んでいました。就職活動の中で、懸垂幕、広告幕、ウィンドウディスプレイ等、お客様とのやり取りを通じてデザインを形に変えていく仕事に興味を持ち、入社致しました。布製品やシート類のソフト系から、懸垂幕装置等のハード系と、扱う商品の幅が広い為、企画、製作、施工と一連の流れを責任持つて行うことができるのが強みだと考えています。



「大きな達成感とやりがいを感じる時」

年間を通して、クリスマス時期のウィンドウや店内外装飾の仕事は特に複雑で製作物量が多い為、お客様と何度も打ち合わせをして、確認を行います。当日の作業は、店舗の閉店後から早朝までかかり、作業中も店内外を駆けまわるので終わる頃には疲労がピークになることもありました。翌日、無事開店しお客様から喜んで頂けると、疲労感は吹き飛び、大きな達成感とやりがいを感じました。まだまだ知識、経験ともに未熟な部分も多くありますが、今後お客様に満足して頂けるよう日々成長していきたいと考えています。



「すべての仕事を自分の糧に」

先日、担当しているお客様より、ホームページに成果を掲載して頂いた事が自信に繋がりました。今後は、より良いものを提案できるよう、多くの知識や手法を身につけ、お客様に必要とされる人材を目指します。その為には、お客様のどんな要望にも迅速かつ具体的に応えられるように、今後関わるすべての仕事を、自分の糧にしていくことが大事だと考えています。諸先輩方の経験豊富な知識に加え、柔軟な姿勢で、弊社の強みを活かした営業が出来るよう心がけたいです。



廣川 早紀

東京デザイナー学院 卒
株式会社 東京タカラ商会
所属：営業企画部